

2024.11

国際委員会アジア学術会議等分科会

沿革

AASA (Association of Academies of Sciences in Asia) と FASAS (Federation of Asian Societies and Academies of Sciences) が合併し、2012年(H24年)に設立

目的

- ・アジア・オセアニア地域の科学技術の発展に寄与すること
- ・社会経済発展のための科学技術、研究開発、技術応用に関する協議と助言を目的とする場として機能すること

組織

・ 30カ国の33機関が加盟

・ IAP傘下の地域ネットワーク(欧州、アフリカ、米大陸、アジア太平洋)のうちの1つ。原資はIAPからの補助金(65%)と加盟機関からの分担金(35%) ※事務局人件費を除き算出

IAP (InterAcademy Partnership)

IAP Regional Networks

Europe(EASAC), Americas(IANAS), Africa(NASAC)

Asia/Pacific(AASSA)

AASSA

General Assembly 総会 (3年に1回)

Executive Board 役員会 (1年に1回~)

Executive Board Members : 9名 (2021-2024)

President
Vice President
Treasurer
Members-at-Large 5名
Director

加盟機関

対象 人文・社会科学を含む全分野

加盟単位 国代表制要素が強い(原則1カ国1機関のみの加盟)

加盟機関の国

アフガニスタン、アルメニア、オーストラリア、アゼルバイジャン、バングラデシュ、中国、ジョージア、インド、インドネシア、イラン、イスラエル、日本、ヨルダン、カザフスタン、キルギス、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、ロシア、シンガポール、スリランカ、タジキスタン、タイ、トルコ、ウズベキスタン、ベトナム

事務局機能

事務局機能は韓国(KAST)が担い、President(会長)・Director(事務局長)は共に韓国(KAST)会員が務める

特別委員会

役員会の決議により設置

(1) Sustainability (2) Science Education
(3) SHARE* (4) WISE Committee**

* Science, Health, Agriculture Risk and Environment
** Women In Science and Engineering

日本学術会議より全ての委員会へ会員等を推薦し、委員として任命されている

開催実績

- General Assembly: 2021年10月(オンライン)、2024年10月(フィリピン)
- Regional Workshop: 年4回程度開催、うち1回はGeneral Assemblyと同時開催
 - ・ 2022年: 韓国、トルコ
 - ・ 2023年: トルコ、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ
 - ・ 2024年: トルコ、モンゴル、インド、スリランカ、フィリピン
- Webinar: 2022年2月(スリランカ)